

分科会1 「防災ボランティアの安全衛生について」

資料

(1) 議事次第 1

(2) 「防災ボランティアの安全衛生部会について」 2

平成18年8月25日

3. 作業内容

ボランティアの安全衛生マニュアル作成にあたり、配慮すべき点について検討する

- ・ 「災害ボランティアの安全衛生管理マニュアル（珠田氏より提供）」をたたき台にボランティアセンタースタッフ、現場のボランティアリーダー、現場で活動するボランティアの3つの立場からそれぞれ配慮すべき内容を整理する。
- ・ 内外の資料を幅広く収集する（消防、消防団、自衛隊、日赤、JICA、体育施設関係、労働安全法、カトリーナ関係、刊行物センター、労災関係、公衆衛生関係など）。
- ・ 本作業ならびに成果物が全国のボラセンの業務に支障を来たさないよう配慮する。
- ・ 安全衛生対策の実施状況の調査を行なうことも検討する。
- ・ 「用語集」「作業チェックシート」などの役立つ資料集の作成も検討する。

必要に応じて助成金等の申請も検討する

- ・ 作成する冊子の印刷費、関係者・学識者の旅費・謝礼など、経費が必要になる可能性がある。各種助成金の申請も検討する。

防災とボランティアのつどいなどの関係者が集まる機会を活用する

- ・ 10月新潟県で開催予定の「安全安心まちづくりワークショップ」や来年1月東京で開催の「防災とボランティアのつどい」などの関係者が集まる機会に、進捗状況を紹介し、多くの関係者の意見をいただく機会を設けることも検討する。

4. 実施スケジュール

9月：部会開催（寒冷地マニュアル等の検討）

10月：安全安心まちづくりワークショップ（中越）で「寒冷地でのボランティア活動」について分科会で意見交換を行なう予定

11月：部会開催

1月：防災とボランティアのつどい（都内）で「ボランティア活動の安全衛生」をテーマにした分科会設置を検討

2月：部会開催

4月：部会開催

5月：マニュアル（案）お披露目（フォーラム開催）

- ・ 上記以外にも、部会など開催する可能性がある。
- ・ メーリングリストを活用し、作業の進捗を紹介し、情報共有を図る。

分科会1 「防災ボランティアの安全衛生について」

議 事 次 第

平成18年8月25日(金) 11:30~15:00

名古屋大学環境総合館(愛知県名古屋市)

1. 経緯説明(11:30~12:00)

- 昼食をとりながら進行 -

- ・ 話題提供 1

岡野谷純氏(特定非営利活動法人 日本ファーストエイドソサエティ 代表)

2. 成果物のイメージ(12:00~13:00)

- ・ 成果物を活用する立場・人
- ・ 成果物を活用する場面等

3. 寒冷地におけるボランティア活動時の安全衛生について

(13:00~13:45)

- ・ 意見交換
- 項目、装備、環境などについて
- スケジュール

4. 見学 - 4階 (13:45~14:15)

5. H18を含む、近年のボランティア活動における安全衛生、経験、課題

(14:15~14:45)

6. 振り返り(14:45~15:00)

平成 18 年 8 月 25 日

防災ボランティアの安全衛生部会について

1. 部会のねらい

災害ボランティア活動の安全衛生マニュアルを作成する

- ・ 地震、風水害など様々な自然災害時のボランティア活動において共通のマニュアルをイメージ。
- ・ ボランティアセンタースタッフ、現場のボランティアリーダー、現場で活動するボランティアの 3 つの立場からそれぞれ配慮すべき内容を整理する。
- ・ 災害時に設置されるボランティアセンターなどボランティアの窓口機能を持つ拠点にて、15 分程度のオリエンテーション用資料も並行して作成する。

寒冷地におけるボランティア活動の安全衛生マニュアルを作成する

- ・ 第 6 回防災ボランティア活動検討会、分科会にて、寒冷地におけるボランティア活動に特化し、マニュアル内容の検討を行う。検討した結果をもとに、関係者の意見も反映させてマニュアルを完成させる。

2. 参加メンバー

座長：岡野谷純氏（日本ファーストエイドソサエティ）

　　洙田靖夫氏（医師・労働衛生コンサルタント）

副座長：富松杏奈（国際ボランティア学生協会） 検討会メンバーではありません。

ML 管理：中川和之氏（時事通信社防災リスクマネジメントウェブ編集長）

【検討会メンバー】（上記に加えて、50 音順）

- ・ 宇田川規夫氏（神奈川県災害救援ボランティア支援センターサポートチーム）
- ・ 小村隆史氏（富士常葉大学環境防災科助教授）
- ・ 沢野次郎氏（災害救援ボランティア推進委員会）
- ・ 秦 好子氏（JFFW（ジャパン・ファイヤ・ファイティング・ウイミング・クラブ））
- ・ 藤田 治氏（特定非営利活動法人 千葉レスキューサポートバイク）
- ・ そのほか、学識者、安全衛生管理関係者にも声をかけていく予定